AKIBA HOLDINGS

2027年3月期 第２四半期決算説明資料

FY2027 Q2 Financial Results Presentation

2026.11.13

AKIBA HOLDINGS

【Contents】

【2027年3月期 第2四半期決算説明資料】

01.	エグゼクティブサマリー	P03
02.	2027年3月期 第2四半期連結決算概要	P05
03.	2027年3月期 通期連結業績予想	P10
04.	事業セグメント別概況	P13
05.	その他の資料	P41

【参考資料】

01.	会社概要・沿革等	P47
02.	事業セグメント及びグループ会社紹介	P50
03.	その他（サステナビリティ、財務情報、株式情報）	P51

※資料中の数字の単位は、別途指定ない限りすべて百万円にて表示しております。

AKIBA HOLDINGS

エグゼクティブサマリー
Executive Summary

01

AKIBA HOLDINGS

売上高・各段階利益ともに前年同期比で大幅増収増益を達成
メモリ事業の収益力向上とHPC事業の高成長により、2Q累計として過去最高の業績を更新

売上高	営業利益	【参考】EPS(1株当たり中間純利益)
20,071百万円 (前年同期比＋113.2%)	1,100百万円 (前年同期比＋298.8%)	60.05円 (前年同期比＋243.7%/ 前年同期17.47円)

- 生成AI需要や価格適正化を背景としたメモリ事業の急拡大が牽引し、全社売上高は前年同期比約2.1倍の大幅増収を達成
- 通信建設テック事業が案件の仕掛に注力する期間となった影響を吸収し、メモリ事業の収益基盤向上とHPC事業の高い利益成長が全体を強力に牽引
- メモリ・HPC両事業の大幅増益により最終利益が拡大し、1株当たり中間純利益(EPS)は前年同期比約3.4倍へ飛躍的に向上

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

AKIBA HOLDINGS

2027年3月期 第2四半期連結決算概要
FY2027 Q2 Financial Results Summary

02

2027年3月期第2四半期連結決算概況【損益計算書】

AKIBA HOLDINGS

メモリ事業の飛躍的な収益力向上とHPC事業の高成長が、全社業績を強力に牽引
売上高は前年同期比＋113.2%、各段階利益も約3.4～4倍へと急拡大し過去最高を更新

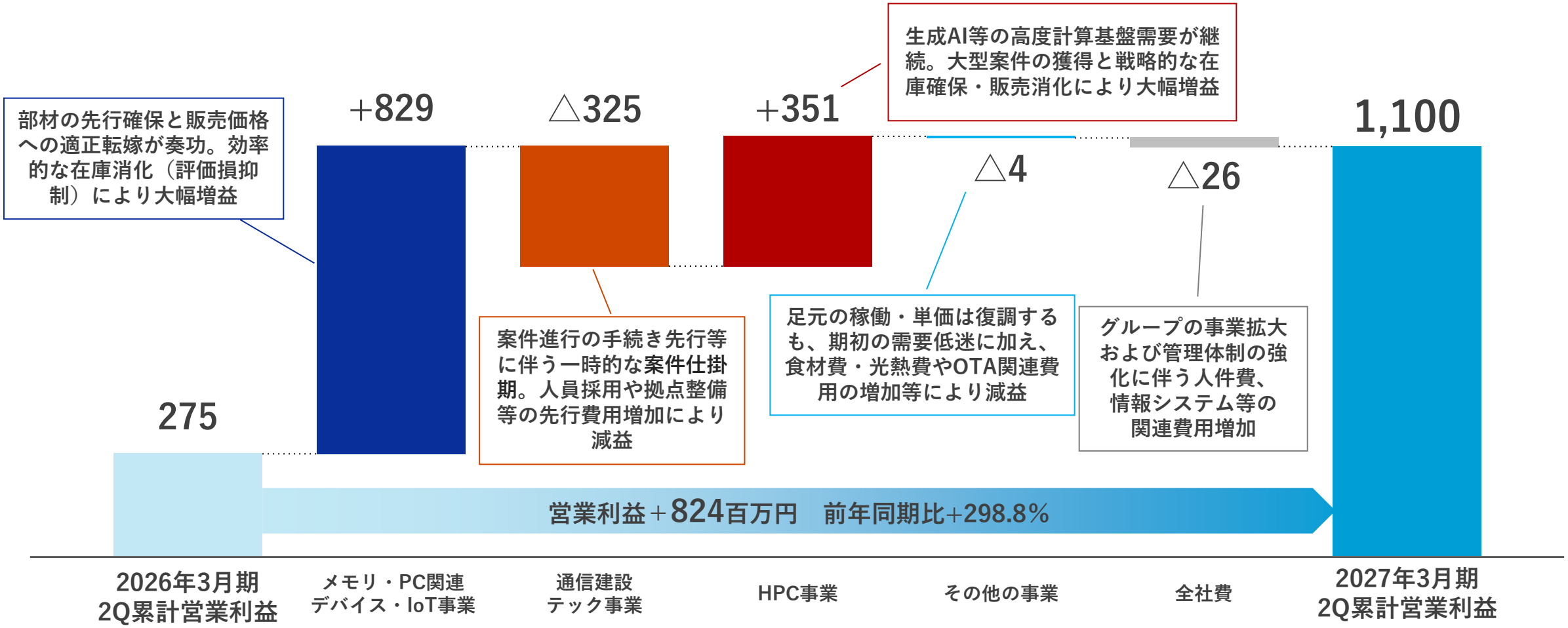
	2026年3月期 2Q累計実績	2027年3月期 2Q累計実績	前年同期比 増減率
売上高	9,414	20,071	+113.2%
営業利益	275	1,100	+298.8%
経常利益	261	1,026	+292.4%
親会社株主に帰属する中間純利益	160	551	+243.6%
一株当たり中間純利益	17.47円	60.05円	

参考	2026年3月期 通期実績
売上高	26,782
営業利益	1,290
経常利益	1,372
親会社株主に帰属する当期純利益	883
一株当たり当期純利益	96.14円

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

02 営業利益の増減要因（2Q累計比較）

メモリ事業の飛躍的な収益向上とHPC事業の高い利益成長が全体を強力に牽引
通信建設テックの案件仕掛期の影響を吸収し、営業利益は前年同期比＋298.8%と拡大

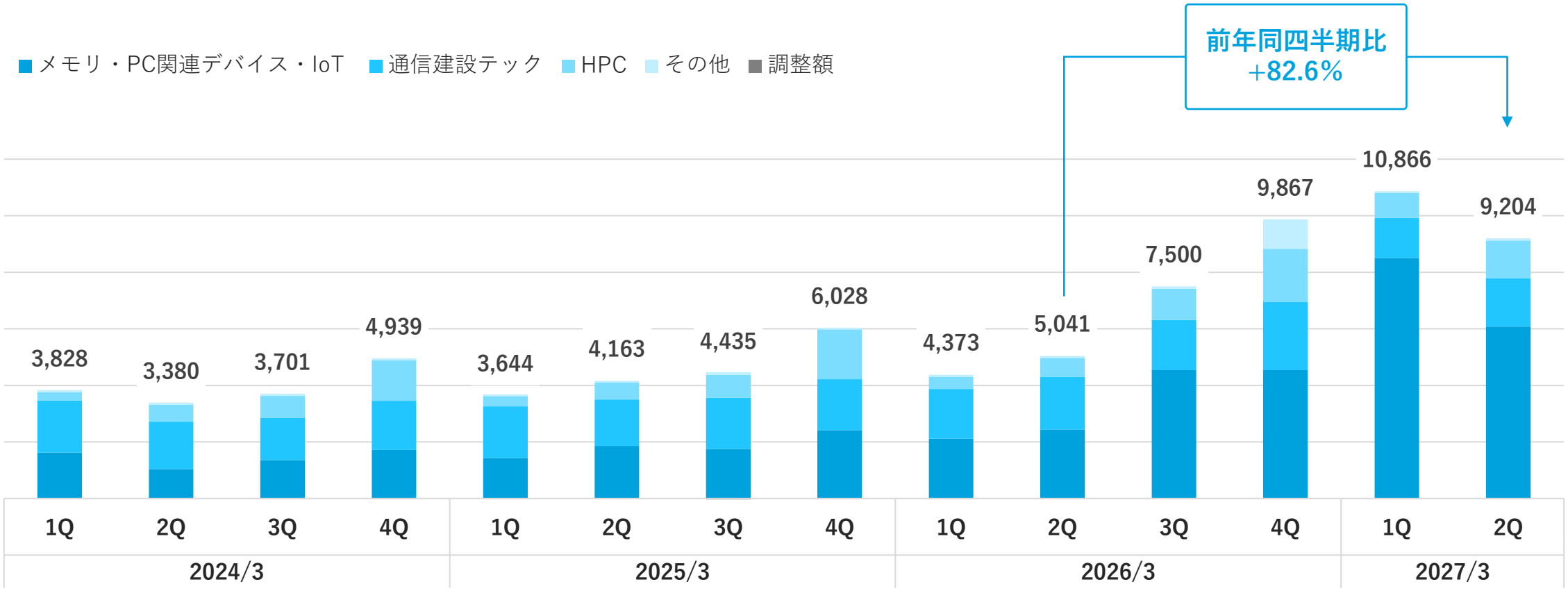


Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

02 事業セグメント別売上高 四半期毎の推移

AKIBA HOLDINGS

生成AI需要を背景としたメモリ事業・HPC事業の躍進が継続し、全社売上高を力強く牽引
2Q会計期間(26年7月～9月)の連結売上高は前年同四半期比＋82.6%となる9,204百万円と大きく拡大

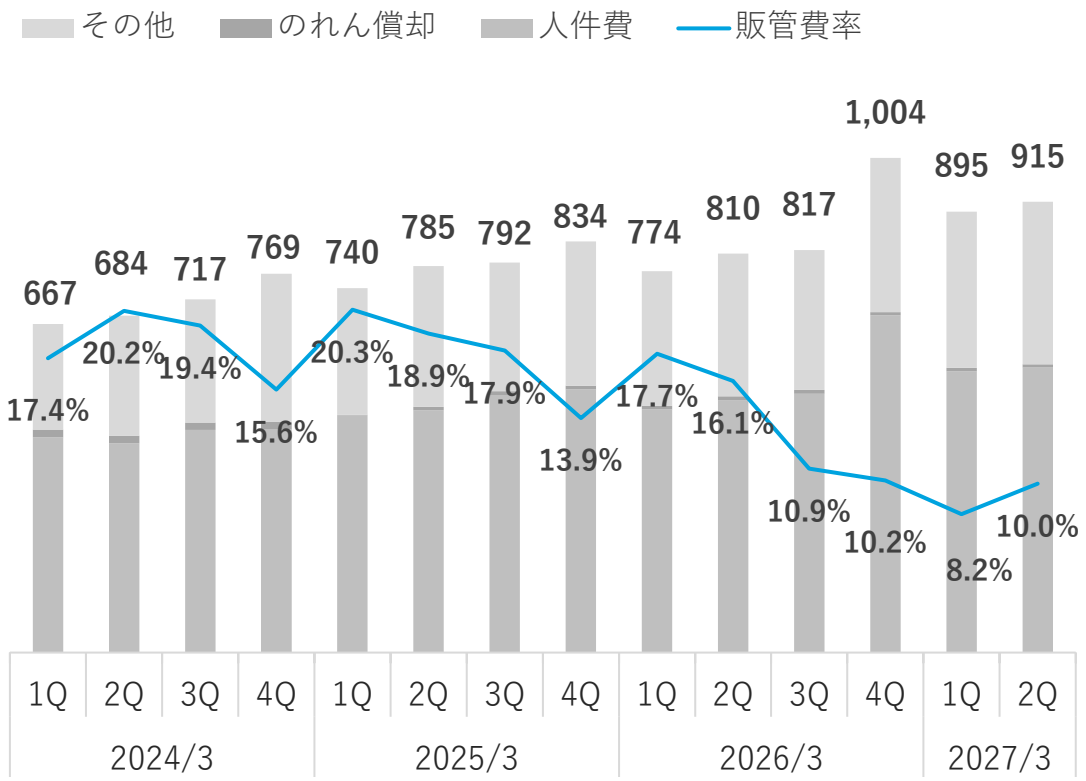


Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

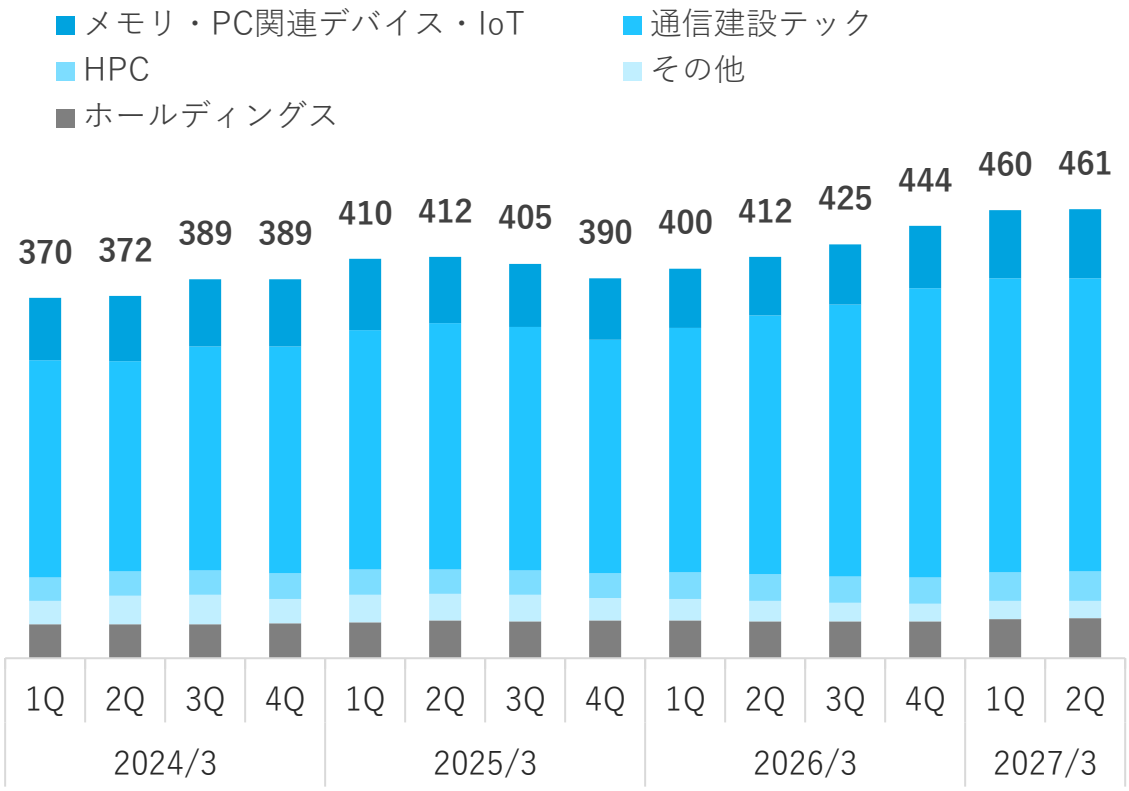
02 販売費及び一般管理費・役職員数の四半期推移

業容拡大に伴う体制整備に加え、物価上昇に対応したベースアップ等を実施し、事業基盤を強化
増収効果によりこれらを吸収し、当四半期の売上高販管費率は10.0%(前年同四半期比△6.1pt)

販売費及び一般管理費（百万円）



役職員数（人）



Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

AKIBA HOLDINGS

2027年3月期 通期連結業績予想
FY2027 Consolidated Earnings Forecast

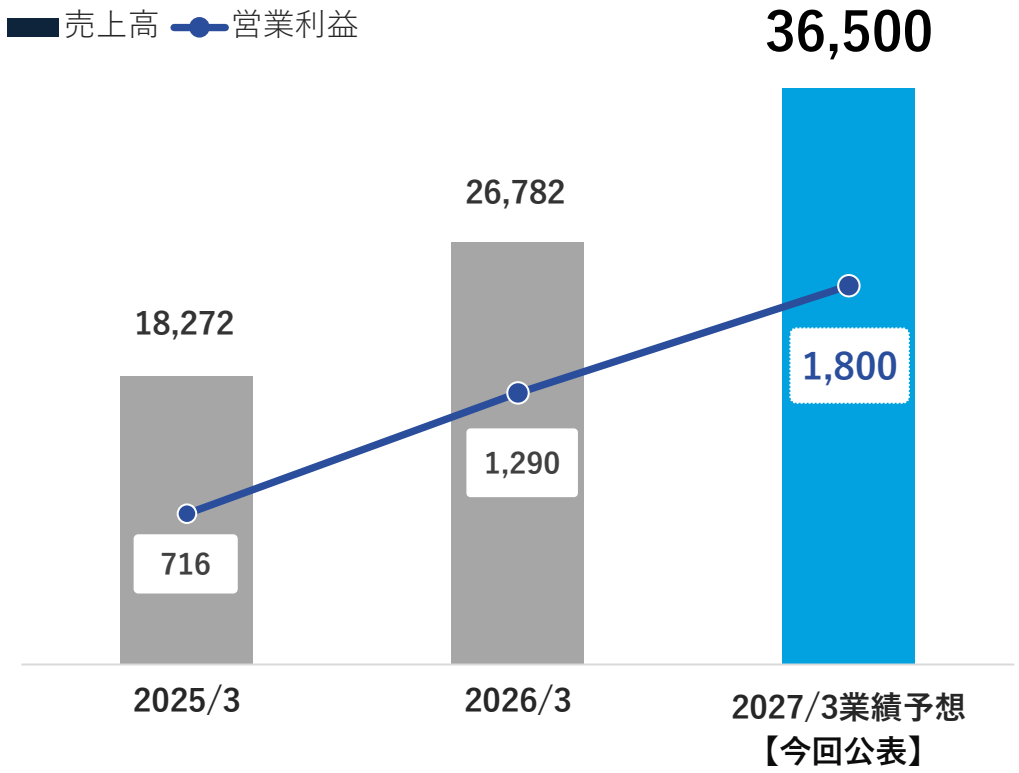
03

2027年3月期 通期連結業績予想

生成AI需要を背景としたメモリ事業・HPC事業の好調な業績進捗を踏まえ、「未定」としていた通期連結業績予想を新たに公表いたしました

通期連結業績予想の概要

	2026/3 実績	2027/3 業績予想 (今回公表)	前期比
売上高	26,782	36,500	+36.3%
営業利益	1,290	1,800	+39.5%
経常利益	1,372	1,650	+20.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	883	1,000	+13.2%



- 生成AI需要の拡大を背景に、主力のメモリ事業およびHPC事業が大型案件の獲得等により売上・利益ともに好調に推移しております。下期は通信建設テック事業における豊富な再エネ・基地局案件の受注残進捗による業績寄与を見込む一方、米国の政治情勢変化に伴うAIインフラ投資への不確実性や、主要部材の調達難・納期の長期化といったリスクを保守的に織り込み、通期業績予想を算定・公表いたしました。

03 2027年3月期の各事業の方針・施策

AKIBA HOLDINGS

AKIBA HOLDINGS	◆ 収益構造の質的転換と高収益化の実現：グループ横断で内製化やストック化を推進し、市況や外部環境に依存しない強固な体質を構築 ◆ 成長市場・新規領域の開拓：生成AI需要や再生エネルギー関連などの成長領域へ戦略的に投資し、次代を担う新たな収益の柱を確立 ◆ グループ連携によるシナジー最大化：各事業会社が持つ技術や顧客基盤の活用を加速させ、グループ一体で提供価値と競争力を底上げ
メモリ・PC関連デバイス・ IoT ADTEC	■ 高付加価値化による収益強化：AI・サーバー向け製品の拡販による、市況に依存しない安定的な黒字体質の構築 ■ エッジAI展開とストック化：「Solist-AI」による市場開拓と、継続的なストック収益基盤（ビジネス）の確立 ■ 法規制対応と開発体制の内製化：CRA対応製品の拡販と、SES人材の自社エンジニア化を通じた開発力・収益性向上
通信建設テック Buddy Net Branch Techno	■ 事業領域の拡大とストック化：通信建設事業・再エネ事業等の既存事業と『BuddyQr』等ストック事業のシェア拡大 ■ 人的基盤の強化と内製化の推進：積極採用・M&Aによる供給力増強と、自社施工の強化を通じた原価圧縮・生産性向上 ■ 営業力強化と地産地消モデル構築：デジタルマーケティングによる需要喚起と、各営業所を軸とした地産地消モデルの推進
HPC(高性能科学技術計算機) HPC TECH	■ 高収益セグメントへのターゲット絞り込み：潤沢な予算を持つ上位アカデミックや優良企業に特化し、価格競争を回避 ■ 先行投資の回収とCF重視の経営：確保済みの先行在庫を確実に利益へ転換しつつ、次なる部材確保で納期優位性を維持 ■ 高付加価値なシステム提案力の強化：生成AI等の高度な研究開発ニーズに対し、最適な機材選定と技術支援で差別化を推進
その他（旅館・不動産事業） Diamond pets & resort	■ 「絆」ブランド強化と集客力の向上：ペット参加型イベントの定期開催やSNSでの発信強化を通じたブランド強化 ■ 接客・サービス品質の継続的な向上：人材の増員や競合視察を通じた、従業員の接客およびサービスレベルの底上げ ■ 体験価値を高める戦略的な設備投資：客室の改装や館内インフラ改修による顧客満足度の向上 ■ 不動産事業としての取組み：市況を見極めながら、継続的に案件情報の収集を続け、収益貢献を目指す

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

AKIBA HOLDINGS

事業セグメント別概況
Overview by Business Segment

04

AKIBA HOLDINGS

メモリ・PC関連デバイス・ IoT	ADTEC	**株式会社アドテック** メモリ及びコンピュータ関連製品・IoTソリューション事業　等
通信建設テック	Buddy Net Branch Techno	**株式会社バディネット** **株式会社ブランチテクノ** 通信建設工事業、通信土木事業、コンタクトセンター事業 等 ※ブランチテクノは2024年4月1日に連結子会社化（2024年6月30日がみなし取得日） ※バディネットがリーバンを2025年3月31日付で吸収合併
ＨＰＣ （高性能科学技術計算機）	HPC TECH	**株式会社ＨＰＣテック** 高性能計算機の開発・製造及び販売事業
その他（旅館他）	Diamond pets & resort	**株式会社ダイヤモンドペッツ＆リゾート** 旅館事業、ペット商品事業、IT事業、イベント事業、不動産事業　等

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

04 2027年3月期第2四半期 事業セグメント別の全体概況

AKIBA HOLDINGS

連結 売上高 20,071百万円（前年同期比+113.2%） 営業利益 1,100百万円（前年同期比+298.8%）



売上高	14,591百万円（前年同期比＋219.8%）
営業利益	838百万円（前年同期比 約94.5倍）

※前年同四半期の営業利益：8.8百万円

- 逼迫する部材の先行確保と販売単価への適正な転嫁が奏功。効率的な在庫消化による評価損の抑制等も寄与し、大幅な増収増益を達成
- IoT事業は大型案件の納入本格化により大幅増収および利益計上を実現。セキュリティ規制対応や「Agentic AI」等の技術投資で将来のストック収益基盤を構築



売上高	3,123百万円（前年同期比△13.4%）
営業利益	△206百万円（前年同期比－%）

※前年同四半期の営業利益：118百万円

- 上期は下期に向けた案件の仕掛に注力する期間となったことに加え、中長期的な事業拡大を見据えた人員採用や拠点整備等の先行投資により営業損失を計上
- 屋内電波対策工事の進捗回復とともに、豊富な受注残を有する再エネ大型案件や新規基地局工事の本格稼働により下期での業績挽回を見込む



売上高	2,227百万円（前年同期比＋102.1%）
営業利益	457百万円（前年同期比＋334.3%）

- 生成AI等の高度計算需要を捉え、最新製品の先行手配と厳格な納期管理の徹底により大型案件を獲得し、大幅な増収を達成
- 急激な仕入コスト上昇下においても採算性を維持し、戦略的な在庫確保と効率的な販売消化を両立したことで、極めて高い利益成長を実現



売上高	137百万円（前年同期比△3.9%）
営業利益	△4百万円（前年同期比－%）

※前年同四半期の営業利益：△0.1百万円

- 期初の旅行控え等で減収も、愛犬同伴特化の付加価値向上や単価適正化により夏期以降の稼働・単価は着実に復調
- 食材費・光熱費やOTA費用の増加等により営業損失も、価格改定の効果発現と秋冬の繁忙期需要の的確な取り込みで収益改善に注力

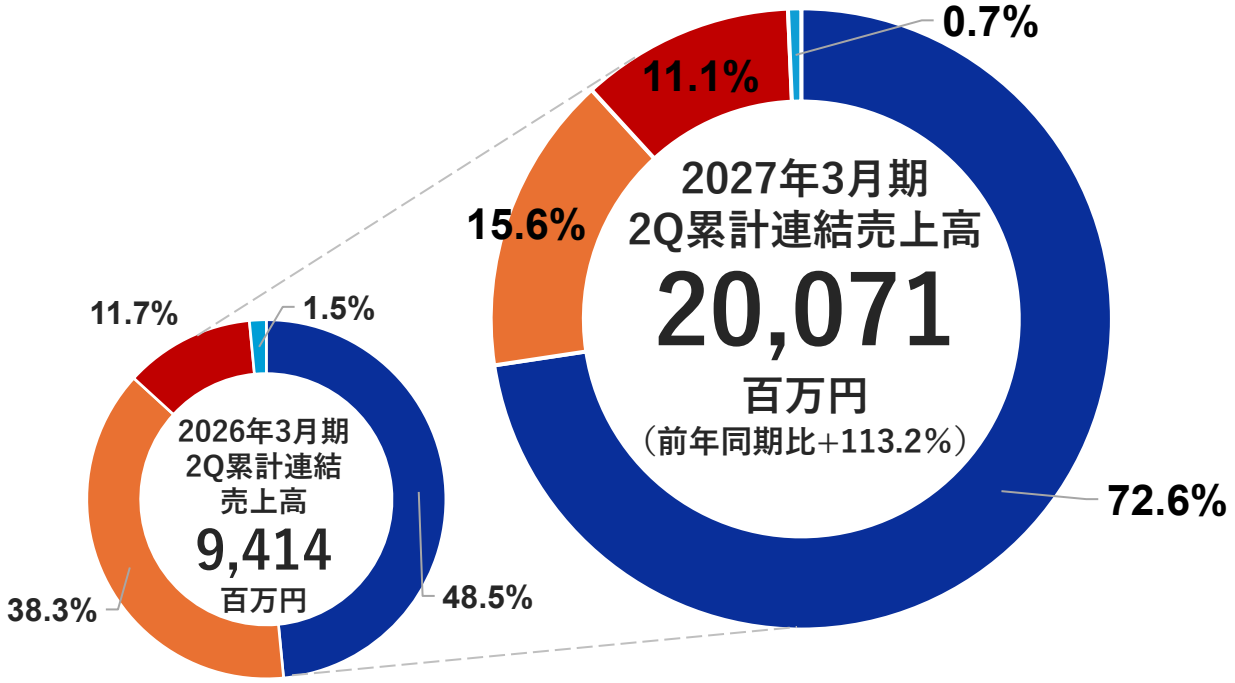
※各事業セグメントの利益金額には全社費用等の調整額16百万円を含んでおりません。

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

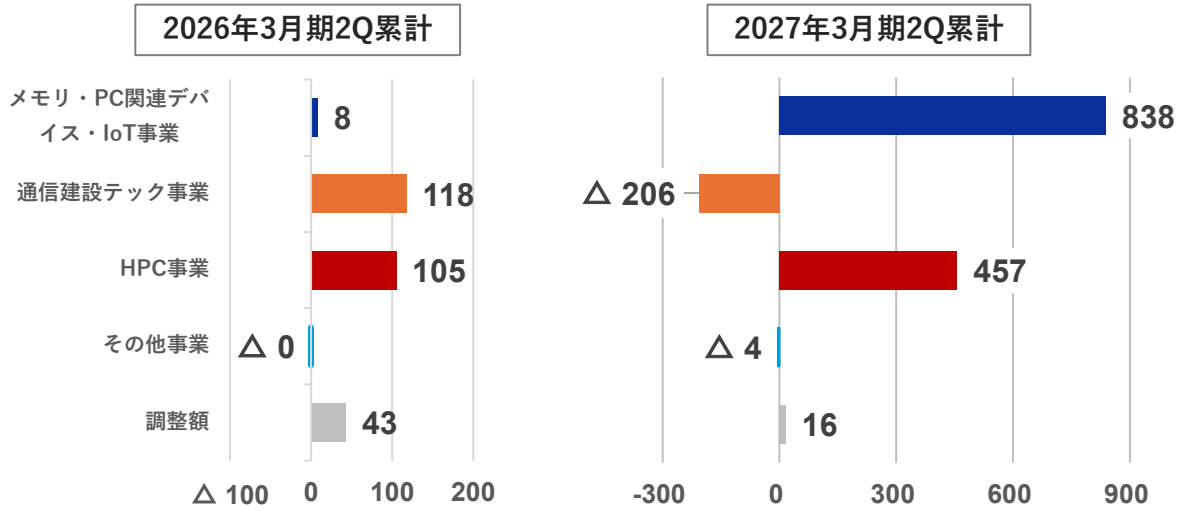
04 2027年3月期第2四半期 事業セグメント別の売上高シェア・営業利益

売上高は構成比が72.6%へ急拡大したメモリ事業が牽引し、前年同期比2倍超の大幅増収
営業利益はメモリ事業の大幅伸長に加えHPC事業も好調に推移し、前年同期比約4倍に拡大

セグメント別売上高構成比



セグメント別営業利益比較



2Q累計連結営業利益
275百万円

2Q累計連結営業利益
1,100百万円
（前年同期比+298.8%）

メモリ・PC関連デバイス・IoT事業　通信建設テック事業　HPC事業　その他の事業　調整額

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

AKIBA HOLDINGS

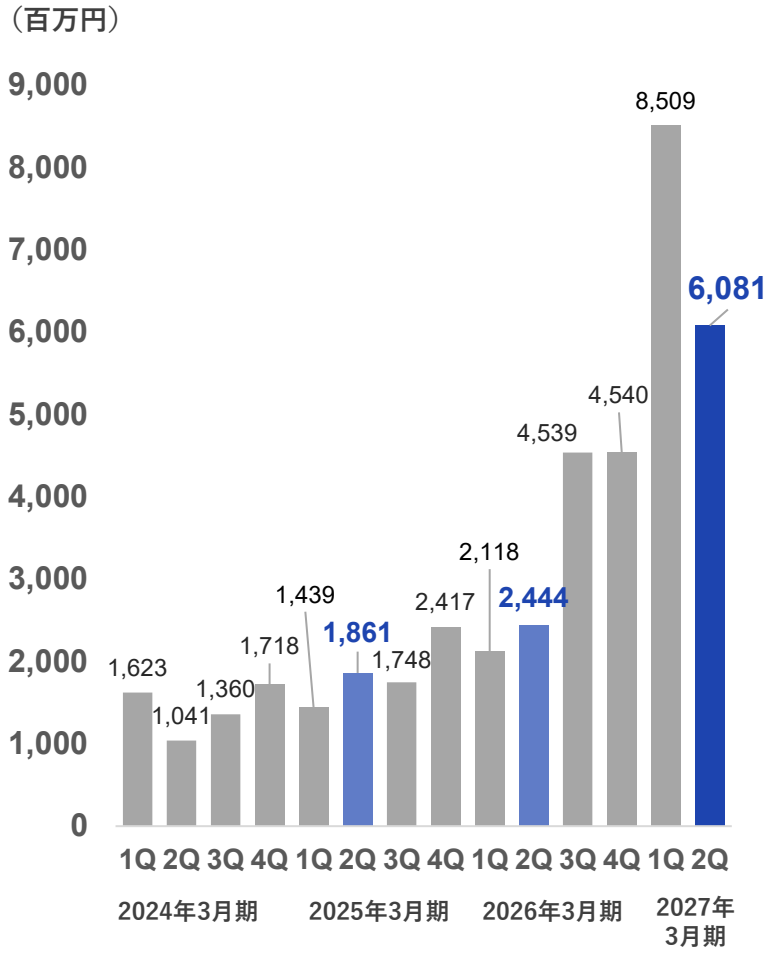
事業セグメント別概況 – メモリ・PC関連デバイス・ IoT事業 –
Overview by Business Segment

04-1

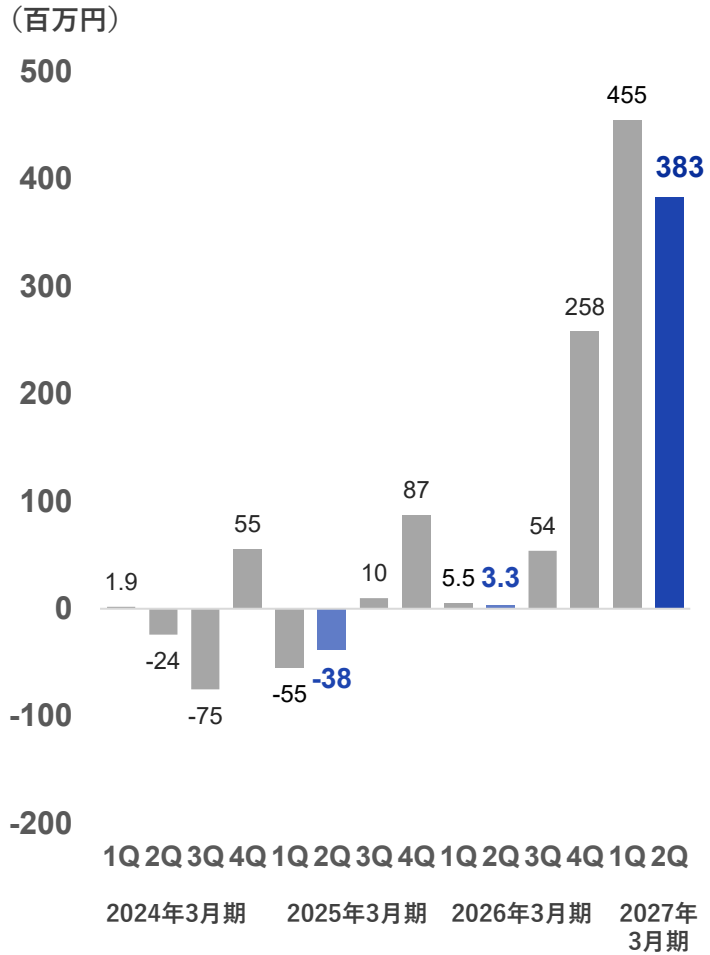
04-1 メモリ・PC関連デバイス・ IoT事業の概況

AKIBA HOLDINGS

■四半期別売上高推移



■四半期別営業利益推移



2027年3月期2Q累計業績

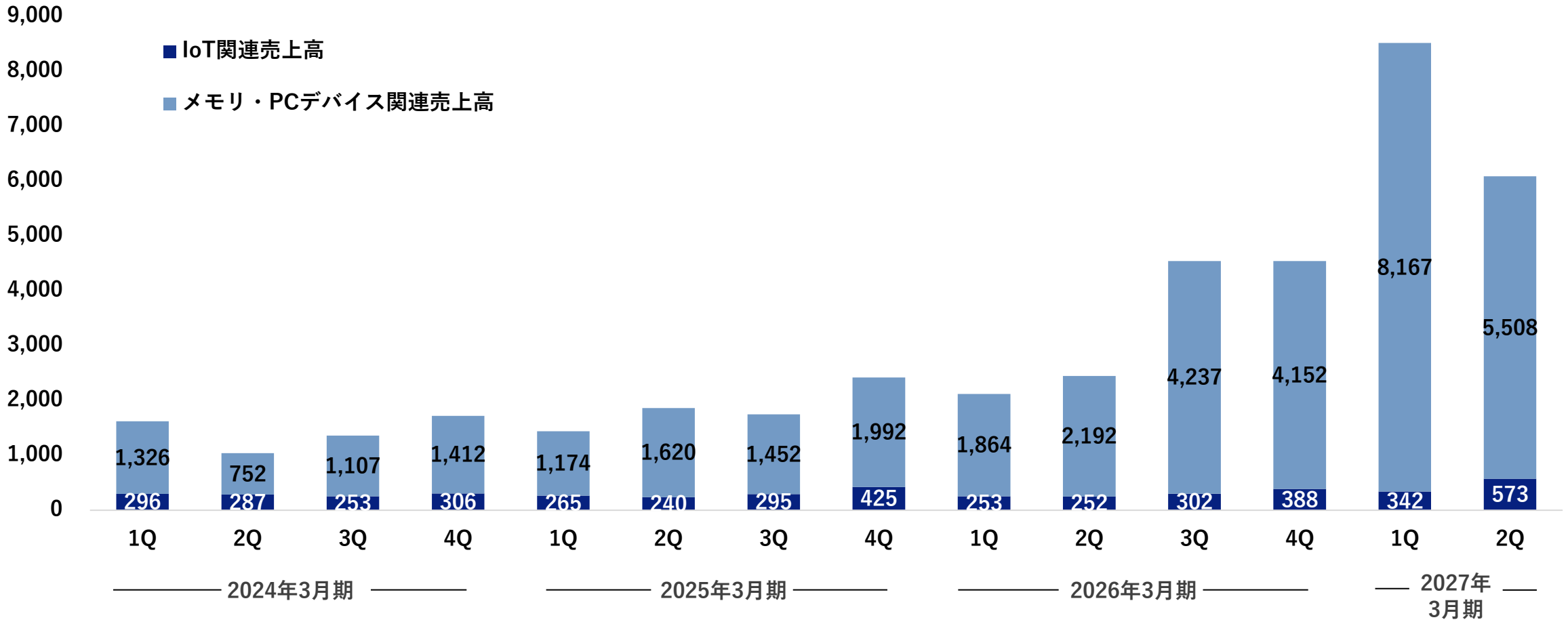
売上高	営業利益
14,591百万円	838百万円
（前年同期比＋219.8%）	（前年同期比 約94.5倍）
	※前年同四半期の営業利益：8.8百万円

- 主要メモリ規格のEOL等に伴う需給逼迫下での部材先行確保と、タイムリーな販売単価の適正化が奏功し、売上高は前年同期比約3.2倍へと大幅に伸長
- 販売価格への適正な転嫁と仕入運用の徹底により収益基盤が向上。保有在庫の効率的な販売消化による評価損抑制等も寄与し、営業利益は約94倍へと飛躍的に拡大
- IoT事業は大型案件の納入本格化により利益貢献。セキュリティ規制対応（CRA/JC-STAR）や「Agentic AI（自律型AI）」等の技術投資・グループ協業を通じ、将来のストック収益基盤を構築

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

04-1 メモリ・PC関連デバイス・ IoT事業の事業部門別売上高

好調なメモリ市況を的確に捉えた大幅増収に加え、IoT事業の大型案件納入が収益拡大を牽引
1Qの先行手配に伴う反動は一部見られるものの、セグメント全体として高水準な売上を獲得

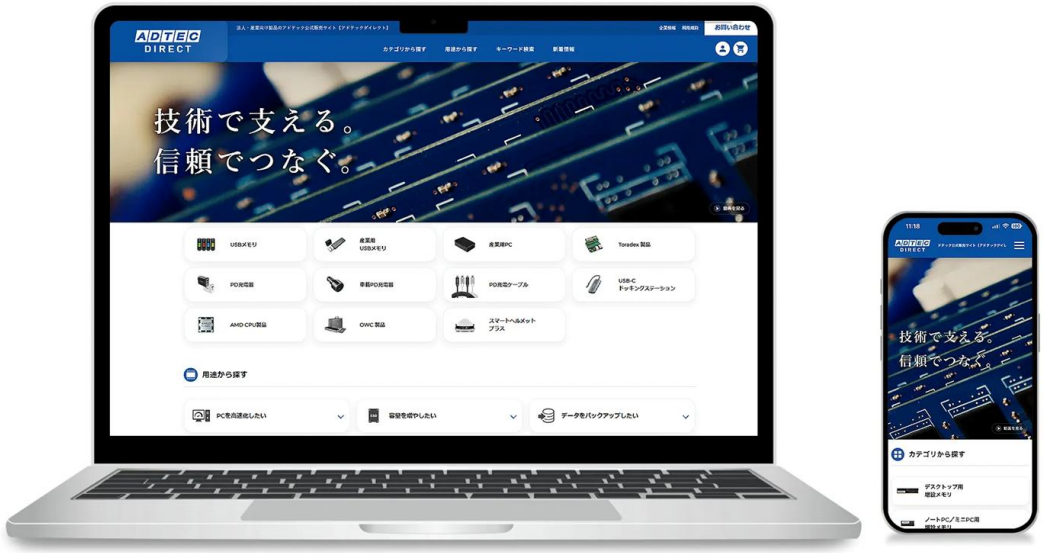


Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

プレスリリース 2026.07.31

法人・産業向け製品のアドテック公式販売サイト【アドテックダイレクト】オープンのご案内

～「より見やすく、選択しやすく、買いやすく」法人取引の利便性を大幅強化 ～



オープンの背景とコンセプト

アドテックはこれまで、既存の公式販売サイト「アキバデバイス」を通じて多くの製品を提供してまいりました。このたび、法人や産業分野のお客様から寄せられる多様なニーズにお応えすべく、B2B（企業間）取引における利便性を大幅に強化した新サイトを立ち上げました。新たにオープンした『アドテックダイレクト』は、「より見やすく、選択しやすく、買いやすく」をコンセプトに設計されています。目的の製品へダイレクトにアクセスできる洗練されたデザインを採用し、法人のお客様における調達業務の効率化を強力にサポートいたします。

【アドテックダイレクト】の主な特長



1. 1ページで完結する「カテゴリLP」の採用
2. 法人購買をスムーズにする新機能
3. 専門的な産業用製品の「問い合わせやすさ」を追求
4. 充実のラインアップと検索導線



アドテック公式販売サイト『 アドテックダイレクト 』

https://direct.adtec.co.jp/

新たに誕生した『アドテックダイレクト』をぜひご活用ください。

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

メモリ・PC関連デバイス・ IoT事業：ニューストピックス

AKIBA HOLDINGS

プレスリリース 2026.09.16

産業用/組み込みコンピュータ 「SB-244-RPLUシリーズ」2026年9月16日(水)発売

～ 第13世代 Intel® Core™ i3 / i5プロセッサーと豊富なI/Oを搭載。LAN×4、USB×6、RAID 1に対応したファンレス・コンパクト産業用PC「SB-244-RPLUシリーズ」～



製品サイト

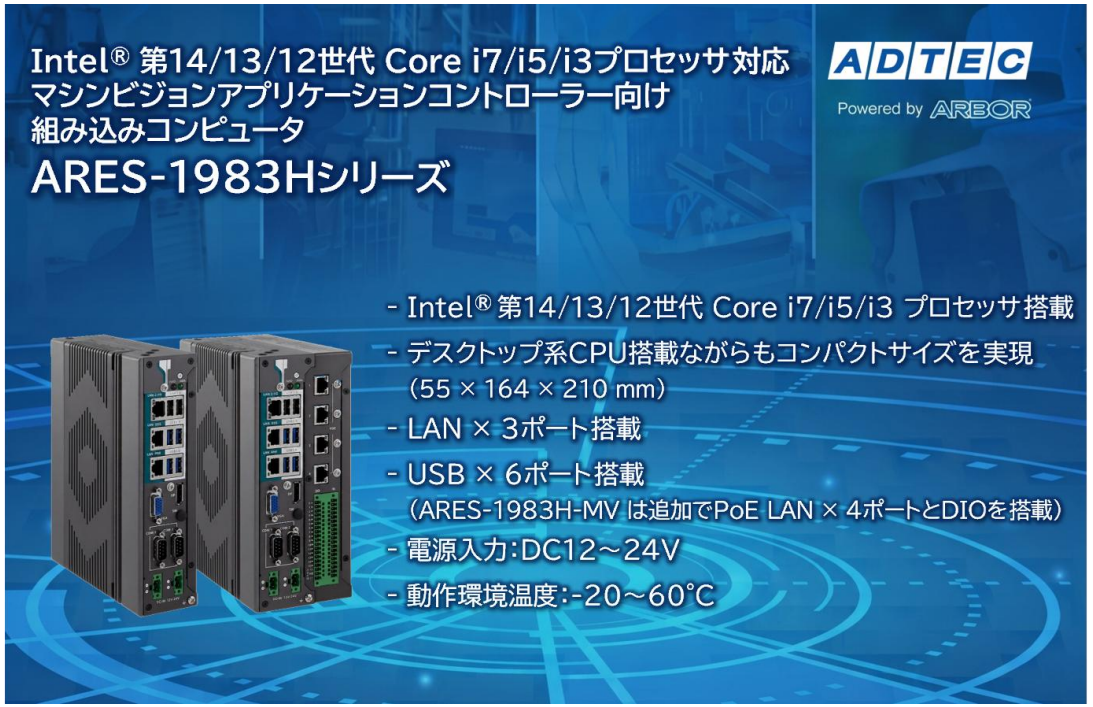
https://www.adtec.co.jp/product/industry/fapc-development/

プレスリリース 2026.09.30

産業用/組み込みコンピュータ 「 ARES-1983Hシリーズ」2026年9月30日(水)発売

～ 第12～14世代Intel®Core™ i7/i5/i3を搭載可能でコンパクトな筐体に豊富なI/Oを備え、マシンビジョン・画像解析用途に対応する組み込みコンピュータ「ARES-1983Hシリーズ」～

ADTEC



製品サイト

https://www.adtec.co.jp/product/industry/fapc-development/

プレスリリース 2026.09.29

【スマホからノートPCまでこれ1台】GaN採用で超小型化を実現！最大65W出力のPD充電器に、マルチな「3ポート」とシンプルな「1ポート」の2シリーズが9月29日より発売開始

～ テレワークや出張、外出先のカフェでも大活躍。手のひらサイズのコンパクトボディで、あらゆるデバイスを急速充電。すぐ使える100W対応eMarker内蔵ケーブル同梱版も同時発売。～



製品サイト

https://www.adtec.co.jp/product/car-supplies/acpd-v065c2/

用途に合わせて選べる、最大65W出力の超小型PD充電器

最新のスマートフォンやタブレットはもちろん、高い電力を必要とするMacBook Proなどのノートpcへの充電も可能な「最大65W出力」の充電器です。
今回、複数デバイスの同時充電に最適な3ポート（USB Type-C×2＋Type-A×1）搭載の「APD-V065SAC2」シリーズと、極限までシンプルとコンパクトを追求した1ポート（USB Type-C×1）搭載の「APD-V065C」シリーズをご用意しました。







各モデルには、65W充電の性能をフルに発揮するために必須となる「eMarker搭載・100W対応」の高品質ケーブルを同梱したセットモデルもラインナップしております。

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

AKIBA HOLDINGS

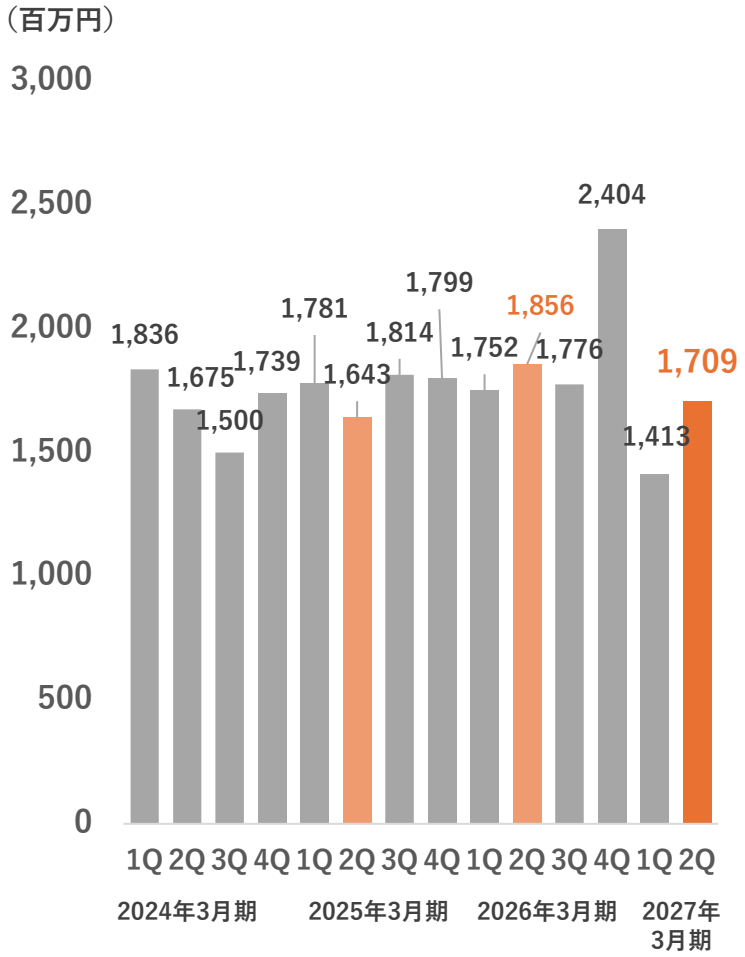
事業セグメント別概況 –通信建設テック–
Overview by Business Segment

04-2

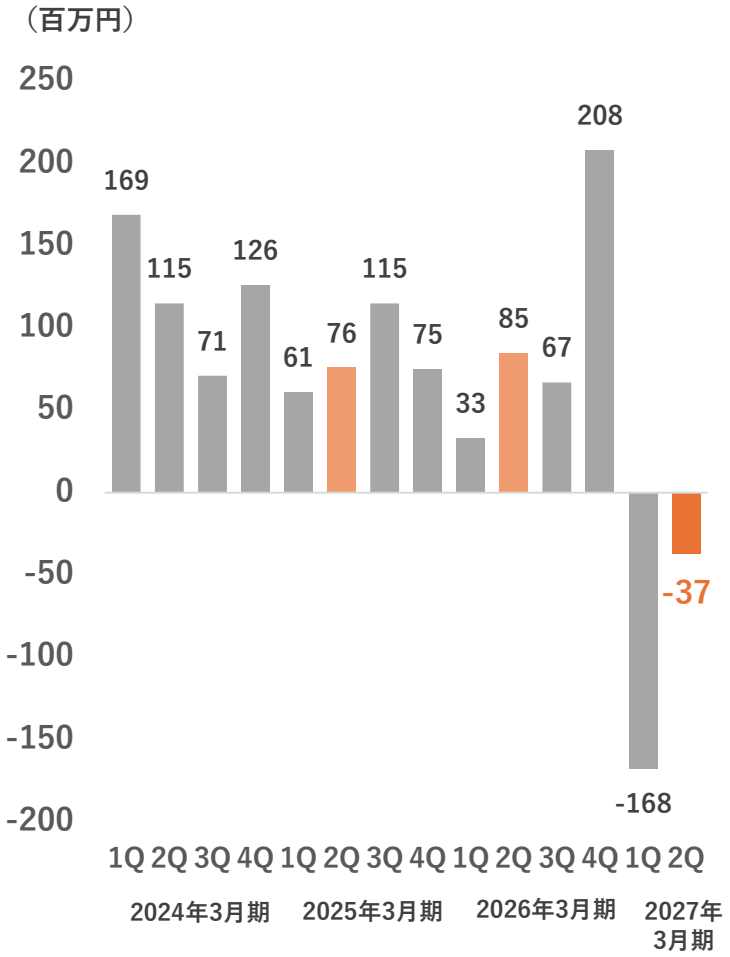
04-2 通信建設テック事業の概況

AKIBA HOLDINGS

■四半期別売上高推移



■四半期別営業利益推移



2027年3月期2Q累計業績

売上高	営業利益
3,123百万円 （前年同期比△13.4%）	△206百万円 （前年同期比－%） ※前年同四半期の営業利益：118百万円

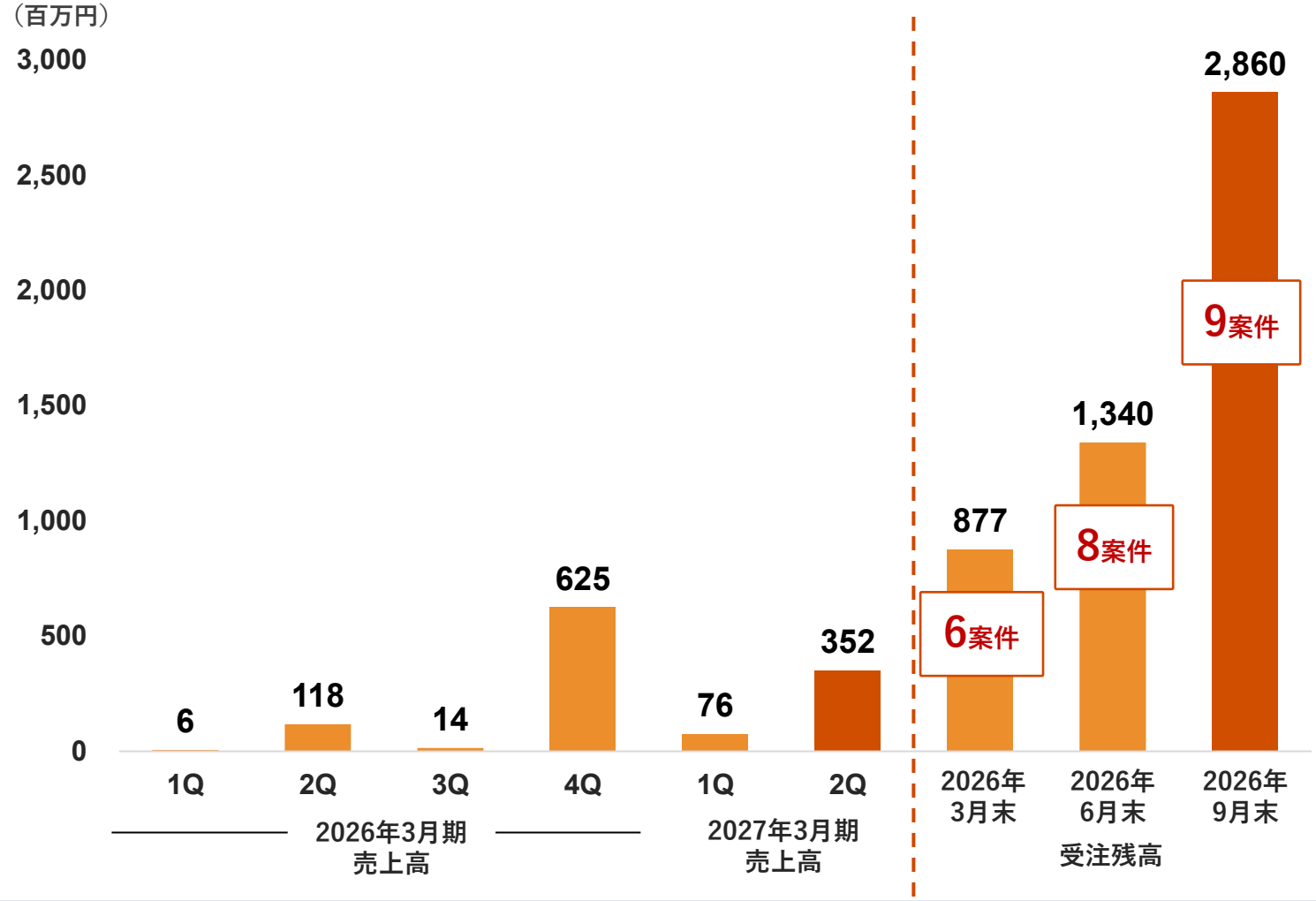
- 屋内電波対策工事の手続き先行による影響を受けるも、新規受注の積み上げや再エネ蓄電所の工事進捗、グループ連携による基地局工事等の推進により売上を確保
- 下期以降に本格計上される再エネ大型案件等の調査・着工と新規通信キャリア向け基地局工事への取り組み開始により一時的に案件の仕掛に注力する期間となる。中長期的な事業拡大を見据えた積極的な人員採用等の先行投資と合わせ営業損失を計上
- 通信キャリア向け屋内電波対策の進捗回復に加え、豊富な受注残を有する再エネ案件（進行基準適用）や、新規通信キャリア向け基地局工事の計上本格化により、下期での業績回復を目指す

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

再生可能エネルギー関連の業績動向

AKIBA HOLDINGS

■再生エネルギー関連売上高四半期推移及び受注残高



2027年3月期2Q 再エネ関連業績

売上高	受注残高
428百万円 （2027年3月期2Q累計）	2,860百万円 （2026年9月末時点）

- 当第2四半期会計期間（26年7月～9月）は完工3件含め、下期以降の検収・引き渡しに向けた案件の仕込みや施工を順調に推進し、売上高352百万円（前年同期118百万円）を計上
- 脱炭素社会の実現に向けた需要拡大を背景に、2026年9月末の受注残高は2,860百万円（9件）へ着実に積み上がっており、下期偏重の業績を強力に支える基盤が整う
- 2026年11月現在において41件の引き合い案件※（受注内諾・商談中）が進行しており、今後も継続的な受注積み上げと中長期的な業績拡大を見込む

※引き合い案件数：受注内諾案件、商談中案件の合計

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

プレスリリース 2026.07.30

バディネット、キャリア採用サイトを全面リニューアル



■新キャリア採用サイト　https://www.buddynet.jp/recruit/

日本社会が急激な人手不足やインフラの担い手不足という深刻な課題に直面する中、「未来を本気で変えたい」という強い意志を持つ若い力、新しい仲間が必要です。当社の使命や覚悟に共鳴してくれる次世代の仲間たちと出会い、私たちの熱い想いを真っ直ぐに届けるべく、採用サイトを全面リニューアルいたしました。

今回のリニューアルでは、最先端のITインフラを手掛ける当社の「先進性」と、世界を変えていく「勢いと熱意」が直感的に伝わるデザインに仕上げました。
社会課題に対する強い危機感を原動力とし、仕事を通じて希望に満ちた明るい未来を見据える姿勢を、エネルギーあふれる表現で形にしています。



プレスリリース詳細【バディネットHP】 https://www.buddynet.jp/press-release/recruitmentsite_renewal-260730/

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

通信建設テック事業：ニューストピックス

AKIBA HOLDINGS

■主なコンテンツのご紹介



■COMPANY：「会社を知る」バディネットって、どんな会社？

「こんなところにも？」――バディネットは、先端テクノロジーの社会実装と次世代インフラ構築を通じて、日常のあらゆる不自由を過去のものにする挑戦を続けています。私たちが培ったノウハウと技術が、身近な場面で人々の生活を変えていることを、視覚的にわかりやすいイラストイメージで表現しました。



■WORK：「仕事を知る」バディネットの職種を紹介

「エンジニアリング」を中心に、「営業」「コンタクトセンター」「営業事務」「企画・マーケティング」「IT・システム開発」「経理・総務・庶務」「情報システム」まで。バディネットではこうしたあらゆる分野のスペシャリストが連携し、社会の日常を支えています。本サイトでは8名のプロモデルを起用し、各職種の具体的な仕事内容やミッションをスタイリッシュに描き出しました。

お知らせ 2026.10.30

系統用蓄電池EPCソリューション特設サイト公開のお知らせ





脱炭素社会の実現と電力需給の安定化に向け、系統用蓄電池の設計・調達・施工の一括請負から
部分的なサポートまで柔軟にお応えする「EPCソリューション」の特設サイトを新たに公開いたしました。

特設サイトURL：https://www.buddynet.jp/solution/energy/grid-battery/

お知らせ詳細【バディネットHP】 https://www.buddynet.jp/information/grid-battery-site-release-261030/

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

プレスリリース 2026.09.17

バディネット、島根県出雲市における系統用蓄電池（2MW/8MWh）建設プロジェクトが完工



■工事概要

・事業所名：出雲古志蓄電所　・所在地：島根県出雲市古志町
・蓄電池システム出力／蓄電容量：2MW／8MWh
・敷地面積：約500㎡　・完工時期：2026年7月

■担当領域

☑ EPC Solution Menu

PHASE 01	PHASE 02	PHASE 03	PHASE 04
物件開発・用地調査	設計・機器調達	施工・据付・試運転	保守
☑ 用地調達・評価	☑ 系統協議・各種許認可	☑ 土木・基礎工事	☐ 定期点検
☑ 現場・インフラ調査	☑ システム設計	☑ 外構工事	☐ オンサイト保守
	☑ 機器手配	☑ 機器据付	
		☑ 電気工事	
		☑ 系統連系・試運転	

プレスリリース詳細【バディネットHP】 https://www.buddynet.jp/press-release/koshi_bess-260917/

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

プレスリリース 2026.11.05

バディネット、北海道川上郡弟子屈町にて系統用蓄電池（2MW/8MWh）建設プロジェクトが完工



■工事概要

・事業所名：弟子屈蓄電所　・所在地：北海道川上郡弟子屈町
・蓄電池システム出力／蓄電容量：2MW／8MWh
・敷地面積：約600㎡　・完工時期：2026年9月

■担当領域

☑ EPC Solution Menu

PHASE 01	PHASE 02	PHASE 03	PHASE 04
物件開発・用地調査	設計・機器調達	施工・据付・試運転	保守
☐ 用地調達・評価	☑ 系統協議・各種許認可	☑ 土木・基礎工事	☐ 定期点検
☑ 現場・インフラ調査	☑ システム設計	☑ 外構工事	☐ オンサイト保守
	☐ 機器手配	☑ 機器据付	
		☑ 電気工事	
		☑ 系統連系・試運転	

プレスリリース詳細【バディネットHP】 https://www.buddynet.jp/press-release/teshikaga_bess-261105/

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

プレスリリース 2026.11.05

バディネット、静岡県富士宮市にて系統用蓄電池（2MW/8MWh）建設プロジェクトが完工



■工事概要

・事業所名：日進LRD蓄電所　・所在地：静岡県富士宮市
・蓄電池システム出力／蓄電容量：2MW／8MWh
・敷地面積：約400㎡　・完工時期：2026年9月

■担当領域

☑ EPC Solution Menu

PHASE 01	PHASE 02	PHASE 03	PHASE 04
物件開発・用地調査	設計・機器調達	施工・据付・試運転	保守
☐ 用地調達・評価	☑ 系統協議・各種許認可	☑ 土木・基礎工事	☐ 定期点検
☑ 現場・インフラ調査	☑ システム設計	☑ 外構工事	☐ オンサイト保守
	☐ 機器手配	☑ 機器据付	
		☑ 電気工事	
		☑ 系統連系・試運転	

プレスリリース詳細【バディネットHP】 https://www.buddynet.jp/press-release/nisshinlrd_bess-261105/

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

プレスリリース 2026.11.05

バディネット、長野県佐久市にて 系統用蓄電池（2MW/8MWh）建設プロジェクトが完工



■工事概要

・事業所名：長野5号蓄電所　・所在地：長野県佐久市
・蓄電池システム出力／蓄電容量：2MW／8MWh
・敷地面積：約430㎡　・完工時期：2026年10月

■担当領域

☑ EPC Solution Menu

PHASE 01	PHASE 02	PHASE 03	PHASE 04
物件開発・用地調査	設計・機器調達	施工・据付・試運転	保守
☐ 用地調達・評価	☑ 系統協議・各種許認可	☑ 土木・基礎工事	☐ 定期点検
☑ 現場・インフラ調査	☑ システム設計	☑ 外構工事	☐ オンサイト保守
	☐ 機器手配	☑ 機器据付	
		☑ 電気工事	
		☑ 系統連系・試運転	

プレスリリース詳細【バディネットHP】 https://www.buddynet.jp/press-release/nagano5-bess-261105/

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

プレスリリース 2026.11.10

バディネット、渋谷区笹塚エリアでの自動配送ロボットによるフードデリバリー実証で「現場運用・実行業務」を完遂





バディネットは、ROBO-HI株式会社からの委託を受け、2026年8月24日から9月30日にかけて
渋谷区笹塚エリアで実施された「自動配送ロボットを活用したフードデリバリー実証」において、
現場運用および実行業務を担当しました。人通りが多く道が複雑な笹塚エリアでの約1ヶ月間の実証期間を通じ、
無事故にて総稼働時間312時間を達成しています。

■実証実験の概要

・実証期間：2026年8月24日（月）～2026年9月30日（水）
・実証エリア：東京都渋谷区笹塚エリア
・対象店舗：カレーショップC&C 笹塚店
　　ドトールコーヒーショップ フレンテ笹塚店
・使用ロボット：Neubility製自律走行型ロボット「Neubie」

■具体的な対応業務

・カメラ映像を介したロボット走行状況の
　常時モニタリング（遠隔監視）
・システム不具合や移動停止時における
　即座の現地駆け付け・復旧対応
・配達対象店舗との可否確認コミュニケーションおよび
　注文者への到着通知業務
・拠点におけるロボット機器の清掃・充電管理および
　運行に付随する各種実務

プレスリリース詳細【バディネットHP】 https://www.buddynet.jp/press-release/food-delivery-demonstration-261110/

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

プレスリリース 2026.11.10

バディネット、東京都中央区保健所への ブラザー製「水素燃料電池システム」の設備設置工事を完工



ブラザー工業株式会社と東京都中央区が締結した「災害時等における水素燃料電池の利活用等に関する協定」に基づき、中央区保健所におけるブラザー製「水素燃料電池システム」の設備設置工事を完工いたしました。








プレスリリース詳細【バディネットHP】 https://www.buddynet.jp/press-release/fuelcell-installation-261110/

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

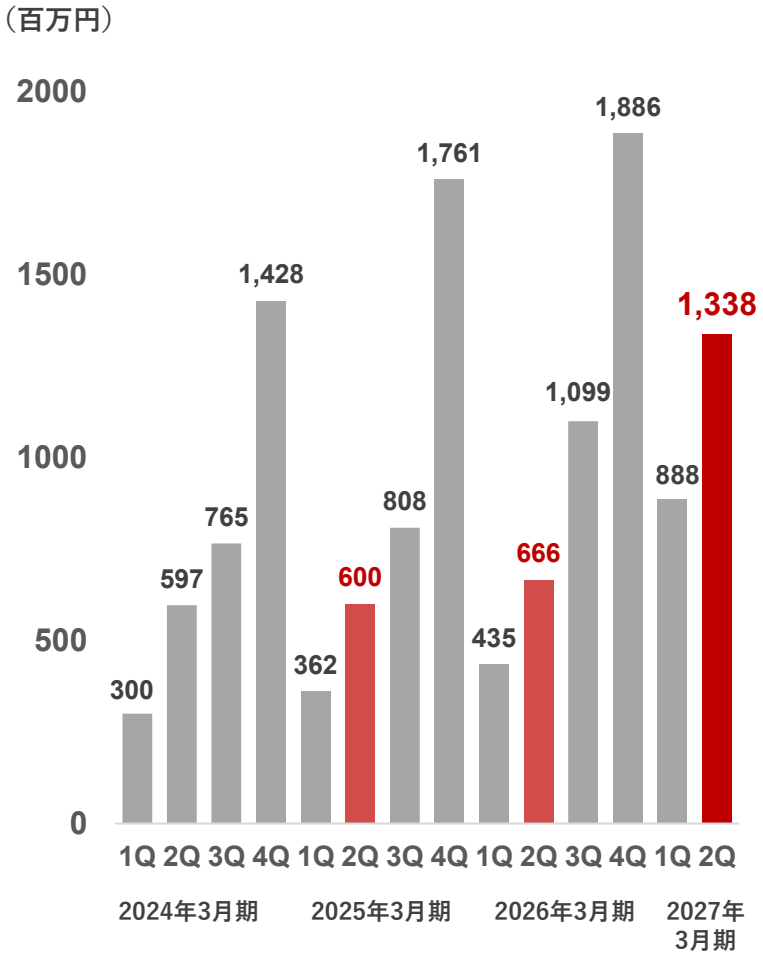
AKIBA HOLDINGS

事業セグメント別概況 – HPC事業 –
Overview by Business Segment

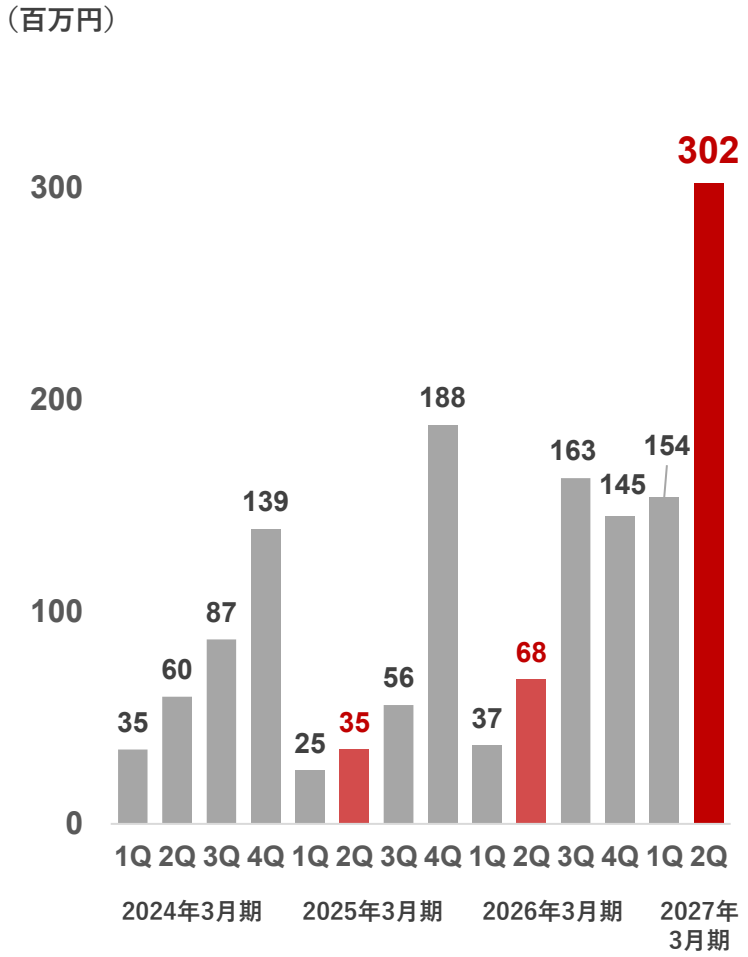
04-3

04-3 HPC事業の概況

■四半期別売上高推移



■四半期別営業利益推移



2027年3月期2Q累計業績

売上高	営業利益
2,227百万円 （前年同期比＋102.1%）	457百万円 （前年同期比＋334.3%）

- 生成AI・高度計算需要の拡大を背景に、最新製品供給とアカデミック向け施策・学会出展が奏功し大型案件を多数獲得、売上高は前年同期比倍増を達成
- 人員体制強化等の先行投資を大幅な増収効果で吸収しつつ、急激な仕入コスト上昇下においても戦略的な在庫確保と効率的な販売消化を両立し、営業利益は前年同期比約4.3倍へ飛躍的に伸長
- 調達リードタイム長期化に対する厳格な納期管理と価格適正化を徹底し、先端研究機関・法人向けカスタムソリューションの展開を加速させ、最繁忙期の下期も堅調な進捗を見込む

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

04-3 HPC事業 ：ニューストピックス

AKIBA HOLDINGS

学会・展示会への参加 【機器展示含む】	International Conference on Ultrafast Phenomena 2026	2026年8月実施
	第29回 画像の認識・理解シンポジウム MIRU2026	2026年8月実施
	2026年日本バイオインフォマティクス学会年会 IIBMP2026	2026年8月実施
	第44回日本ロボット学会学術講演会	2026年9月実施
	日本機械学会 第39回計算力学講演会（CMD2026）	2026年9月実施
	第20回分子科学討論会	2026年9月実施
	日本流体力学会 年会2026	2026年9月実施
商品取扱開始（キャンペーン）	NVIDIA RTX PRO 6000 Blackwell Max-Q アカデミック ＆NVIDIA インセプションプログラム認定パートナーキャンペーン	2026年7月～9月末

AKIBA HOLDINGS

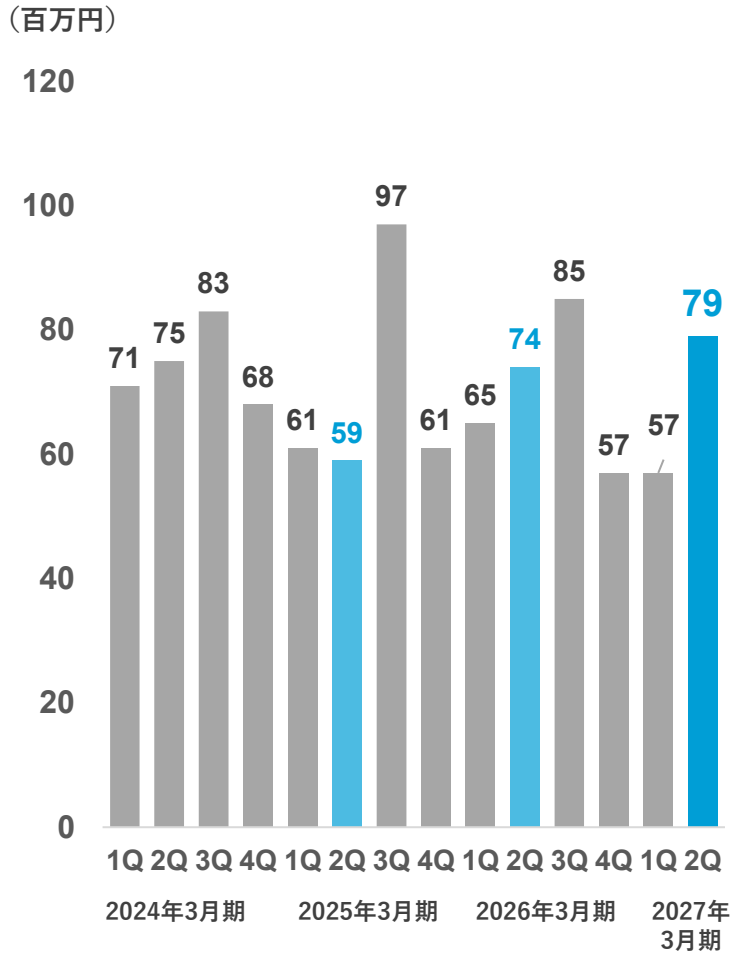
事業セグメント別概況 –その他の事業–
Overview by Business Segment

04-4

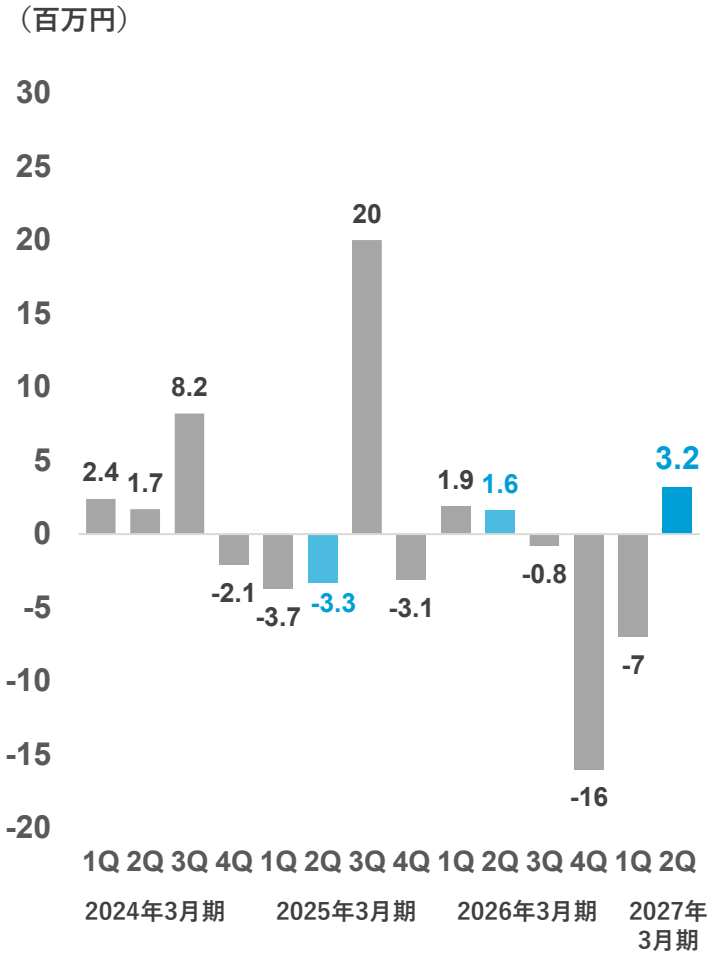
04-4 その他の事業の概況（旅館事業及び不動産事業）

※下記の四半期別売上高推移及び営業利益推移のグラフの業績は「旅館事業」の業績を掲載しています。

■四半期別売上高推移



■四半期別営業利益推移



2027年3月期2Q累計業績

売上高	営業利益
137百万円	△4百万円
（前年同期比△3.9%）	（前年同期比－%）
	※前年同四半期の営業利益： △0.1百万円

※上記営業利益には不動産事業の費用が含まれており、当期(2Q累計)における不動産事業の収益貢献はありません。

- 物価高に伴う旅行控え等により期初は減収も、付加価値向上に伴う単価適正化やWeb・SNS集客の強化により、夏期・連休を中心に稼働率および単価水準は着実に復調
- 外部人材の活用やコスト管理を徹底するも、食材費・光熱費の高騰やOTA（オンライン旅行予約サイト）関連費用の増加、期初の減収影響が響き営業損失を計上
- 価格改定効果の発現に加え、秋の行楽や年末年始の繁忙期需要を確実に取り込み、通期での収益性改善に注力

AKIBA HOLDINGS

改修工事を進め、収益性・顧客満足度向上施策を推進





※リニューアルした客室「真珠」

露天風呂付きの客室を増室

人気の高い、露天風呂付きの客室を増室
客単価の向上により更なる収益性の向上を期待

ドッグランをリニューアルし顧客満足度の向上を図る

屋内・屋外ドッグランの整備・拡張を進め、
利便性を高める事により、顧客満足度の向上を推進



※屋外ドッグラン

宴会場を「茶寮」へ刷新し、新たな集客チャネルと体験価値を創出

40名以上の団体受入体制を整備し、大型予約の獲得を推進
茶寮を活用した飲食単体利用（日帰り食事需要）を取り込み、
収益機会を拡大



※リニューアルした茶寮

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

AKIBA HOLDINGS

その他の資料(トピックス,連結財務諸表概要等)
Appendix (Topix,Financial Summary etc.)

05

次世代小型EV「mibot」を展開するKGモーターズへ出資、グループ総合力で事業成長を支援



次世代1人乗り超小型EV「mibot」

- ✓ 次世代1人乗り超小型EV「mibot」
- ✓ 走行時CO2を約80%削減する高い環境性
- ✓ 車載通信・OTAを搭載する「動くIoTデバイス(SDV)」

グループ総合力による「mibot」量産化・事業拡大支援

AKIBAグループの経営資源

- IT・エレクトロニクス
- 通信・電気インフラの施工力
- 全国規模の保守網・メンテナンス体制

×

KGモーターズの強み

- 次世代小型モビリティ開発力
- 高い環境性・経済性と先行予約の実績

**ハードウェアの量産化支援 &
新たなモビリティインフラの構築へ**

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

05 2027年３月期第2四半期決算：連結貸借対照表

連結貸借対照表

	2026/3末	2026/9末	増減額	前期末増減率
流動資産	16,769	18,688	+1,918	+11.4%
現預金	5,961	4,644	△1,316	△22.1%
売掛債権	5,264	7,198	+1,934	+36.7%
棚卸資産	5,268	6,053	+785	+14.9%
固定資産	995	1,090	+95	+9.6%
資産合計	17,764	19,778	+2,013	+11.3%
流動負債	10,637	12,173	+1,535	+14.4%
短期借入金	5,062	7,037	+1,975	+39.0%
一年以内返済予定長期借入金	945	1,012	+66	+7.0%
一年以内償還予定社債	60	60	0	－
買掛金	3,105	1,875	△1,229	△39.6%
固定負債	2,158	2,002	△156	△7.2%
長期借入金	1,761	1,616	△145	△8.2%
社債	180	150	△30	△16.7%
負債合計	12,796	14,175	+1,379	+10.8%
株主資本	4,414	4,966	+551	+12.5%
資本金	100	100	0	－
利益剰余金	3,533	4,084	+551	+15.6%
純資産合計	4,968	5,603	+634	+12.8%
負債・純資産合計	17,764	19,778	+2,013	+11.3%

【売上成長に伴う売掛債権の増加と、旺盛な需要に対応する部材確保】
各事業の大幅な売上成長に伴い売掛債権が1,934百万円増加。また、生成AI等の需要に備えた戦略的な在庫確保により棚卸資産が785百万円増加し、流動資産全体で1,918百万円増加

【事業規模拡大に伴う運転資金需要への機動的な対応】
大幅な売上成長（前年同期比＋113.2%）や先行的な部材手配の決済等の資金需要に対応するため、短期借入金（+1,975百万円）を機動的に調達し、流動負債全体で1,535百万円増加

【約定返済の着実な進展による長期負債の減少】
拡大する運転資金には短期借入等で柔軟に対応する一方、既存の長期借入金は順調に返済（△145百万円）が進み、固定負債全体で156百万円減少

【過去最高益達成に伴う利益剰余金の積上げと財務基盤強化】
記録的な中間純利益（親会社株主に帰属する中間純利益551百万円）の計上により利益剰余金が増加し、純資産は5,603百万円（＋634百万円）へ拡大。

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

05 2027年３月期第2四半期決算：連結損益計算書

AKIBA HOLDINGS

連結損益計算書

	2026/3 2Q累計	2027/3 2Q累計	増減額	前年同期増減率
売上高	9,414	20,071	+10,656	+113.2%
売上原価	7,553	17,159	+9,605	+127.2%
売上総利益	1,861	2,911	+1,050	+56.4%
販売費及び一般管理費	1,585	1,811	+225	+14.2%
営業利益	275	1,100	+824	+298.8%
営業外収益	32	22	△9	△30.8%
営業外費用	46	95	+49	+106.8%
経常利益	261	1,026	+765	+292.4%
特別利益	－	12	+12	－
特別損失	－	32	+32	－
税金等調整前中間純利益	261	1,007	+745	+284.9%
法人税等合計	77	353	+275	+354.7%
中間純利益	184	654	+470	+255.4%
非支配株主に帰属する中間純利益	23	102	+79	+336.2%
親会社株主に帰属する中間純利益	160	551	+391	+243.6%

【売上高：AI関連投資を背景にしたメモリ・HPC事業の牽引により大幅増収】
生成AI等の社会実装加速に伴う旺盛な投資意欲を背景に、メモリ市況の変化に機敏に対応した先行手配や、大学・研究機関等向けの大型案件獲得が奏功。売上高は20,071百万円（前年同期比＋113.2%）と第2四半期における過去最高水準の進捗

【営業利益：事業拡大の先行費用等を完全に吸収し、前年同期比約4倍へ拡大】
人員・体制強化に伴う販管費増（1,811百万円、前年同期比＋14.2%）や通信事業の端境期影響があったものの、大幅な増収効果やタイムリーな販売単価適正化、効率的な在庫消化が寄与し、営業利益は1,100百万円（前年同期比＋298.8%）に急拡大

【中間純利益：記録的な収益規模拡大により、551百万円を達成】
主力事業における飛躍的な収益力向上により、親会社株主に帰属する中間純利益は551百万円（前年同期比＋243.6%）を達成。売上高およびすべての段階利益において前年同期を大幅に更新し、利益進捗が好調に推移

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

05 2027年３月期第2四半期決算：連結キャッシュフロー計算書

AKIBA HOLDINGS

連結キャッシュフロー計算書

	2026/3 2Q累計	2027/3 2Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	622	△3,091	△3,713
税金等調整前中間純利益	261	1,007	745
減価償却費	37	44	7
のれん償却	14	13	△1
貸倒引当金の増減	△16	△2	14
売上債権の増減額（△は増加）	699	△1,934	△2,644
棚卸資産の増減額（△は増加）	△286	△785	△498
仕入債務の増減額	171	△1,229	△1,401
法人税等の支払額	△44	△397	△352
その他	△215	191	407
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68	△95	△26
有形・無形固定資産の取得等による支出	△52	△68	△16
投資有価証券の取得等による支出	－	△49	△49
その他	△16	23	40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△437	1,865	2,302
短期借入金の純増減額（△は減少）	0	1,975	1,975
長期借入金の純増減額（収入ー返済）	△406	△78	327
社債の純増減額（発行ー償還）	△30	△30	0
その他	△1	△0	+0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	116	△1,320	△1,437
現金及び現金同等物の期首残高	5,325	5,911	585
現金及び現金同等物の期末残高	5,442	4,591	△851

【営業CF：売上成長に伴う売上債権の増加と、先行部材手配の実行】
税金等調整前中間純利益（1,007百万円）を計上した一方で、各事業の売上拡大に伴う売上債権の増加（△1,934百万円）や仕入債務の減少（△1,229百万円）、先行手配による棚卸資産の増加（△785百万円）等により、営業CF全体として3,091百万円の支出

【投資CF：設備投資に加え、次世代モビリティ領域での戦略的出資を実行】
当第2四半期において大規模な設備投資等は発生していないものの、将来の事業シナジー創出を見据えたKGモーターズへの戦略的出資（株式取得：△49百万円）や、定常的な有形固定資産の取得に伴う支出（△68百万円）等により、投資CF全体として95百万円の支出

【財務CF：旺盛な運転資金需要に対する機動的な資金調達の実行】各事業の業績拡大や先行的な部材手配に伴う運転資金需要に柔軟かつ機動的に対応するため、主に短期借入金による調達（＋1,975百万円）を実施した結果、財務CF全体として1,865百万円の収入。※既存の長期借入金等は計画通りに返済を進捗

AKIBA HOLDINGS

参考資料
Appendix

商号	株式会社AKIBAホールディングス（旧株式会社アドテック）
上場市場	東京証券取引所スタンダード（証券コード：6840）
設立	1983年2月17日
資本金	１億円
事業内容	持株会社としてグループ全体の経営戦略の策定・推進、 グループ経営の監査、その他経営管理並びにそれらに 付帯する業務
決算期	3月末
役職員数	461名（連結　2026年9月末日）
本社所在地	〒104-0045 東京都中央区築地2-1-17陽光築地ビル Tel：03-3541-5068(代表) Fax：03-6260-6258

役員	取締役会長	堀　礼一郎
	代表取締役社長　経営戦略本部長	白鳥 俊昭
	取締役　CFO　管理本部長	五十嵐 英
	取締役　管理本部副本部長	冨山 理布
	取締役（社外）	丸山 一郎
	取締役（社外）	黒部 得善
	取締役（社外）	後藤田 翔
	取締役（社外）	中川 英之
	取締役（社外）	浦 勝則
	常勤監査役	内藤 城次郎
	監査役（社外）	上林 三子雄
	監査役（社外）	西田 史朗
会計監査人	KDA監査法人	
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社	

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

01 沿革

1980年代	1983.2	株式会社アドテックを設立（商号変更により現「株式会社AKIBAホールディングス」）
1990年代	1993.6	パソコン用増設メモリモジュールの製造販売を開始
	1998.11	日本証券業協会に株式を店頭登録
2000年代	2004.12	ジャスダック証券取引所（ 東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）） に株式を上場
2010年代	2013.5	株式会社エッジクルー（株式会社アキバデバイス）を設立
	2015.1	株式会社バディネット（現 連結子会社）を買収
	2015.10	株式会社AKIBAホールディングスに商号変更、新設分割により株式会社アドテック（現 連結子会社）を設立、純粋持株会社体制に移行
	2016.3	iconic storage株式会社を買収
	2017.1	株式会社HPCテック（現 連結子会社）を買収
	2019.7	ウェブソリューション事業を株式会社バディネットに移管、通信コンサルティング事業に統合
2020年代	2020.5	株式会社ダイヤモンドペッツ＆リゾート（旧 株式会社AKIBA LABO福岡）にて新規事業（ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」の運営）開始
	2020.10	ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」 グランドオープン
	2020.10	株式会社バディネットが株式会社トランテンエンジニアリングを買収
	2021.4	株式会社バディネットがiconic storage株式会社と株式会社トランテンエンジニアリングを吸収合併
	2021.10	株式会社アドテックがシーアールボックス株式会社を買収
	2022.4	東京証券取引所の市場区分の再編に伴い、東京証券取引所スタンダード市場へ移行
	2022.10	株式会社アドテックがシーアールボックス株式会社を吸収合併
	2022.11	株式会社バディネットが株式会社リーバンを買収
	2022.12	株式会社エッジクルーから株式会社アキバデバイスに商号変更
	2024.1	株式会社アドテックが株式会社アキバデバイスを吸収合併
	2024.4	株式会社バディネットが株式会社ブランチテクノ（現 連結子会社）を買収
	2025.3	株式会社バディネットが株式会社リーバンを吸収合併

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

AKIBA HOLDINGS

Mission

持続可能な未来社会をITで実現する

For a sustainable future with IT

Vision

先端技術の追求

先端技術を追求し、製品、サービスの提供及び経営におけるITの最先端企業となります。

弛みない革新への挑戦

探究、挑戦することを恐れず、忘れず、革新的なデザインとITの力で社会に革新をもたらします。

持続型企業の形成

ITを駆使して、法令を遵守し、持続的成長が可能な企業形成を推進します。

新しい価値の創出

日々刻々と変化する社会において、ITを活用した新しい価値を創出し続けます。

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

AKIBA HOLDINGS

AKIBA HOLDINGS

メモリ・PC関連デバイス・ IoT	ADTEC	**株式会社アドテック** メモリ及びコンピュータ関連製品・IoTソリューション事業　等
通信建設テック	Buddy Net Branch Techno	**株式会社バディネット** **株式会社ブランチテクノ** 通信建設工事業、通信土木事業、コンタクトセンター事業 等 ※ブランチテクノは2024年4月1日に連結子会社化（2024年6月30日がみなし取得日） ※バディネットがリーバンを2025年3月31日付で吸収合併
ＨＰＣ （高性能科学技術計算機）	HPC TECH	**株式会社ＨＰＣテック** 高性能計算機の開発・製造及び販売事業
その他（旅館他）	Diamond pets & resort	**株式会社ダイヤモンドペッツ＆リゾート** 旅館事業、ペット商品事業、IT事業、イベント事業、不動産事業　等

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

【基本的な考え方】

AKIBAホールディングスは、「持続可能な未来社会をITで実現する」ことをミッションとし、ITを通じて豊かな持続可能な情報化社会の実現に貢献してまいります。また私たちAKIBAホールディングスの使命とは、事業を通じた社会貢献と法令の遵守だけではなく、企業倫理に則った公正かつ適切な事業運営を通じて、地球環境及び人類の持続可能な発展に貢献することであると考えています。この使命を果たすべく、日々取り組みを進めています。

【マテリアリティ（重要課題）】

AKIBAホールディングスは、社会に価値ある未来を創造するIT企業グループとして、
「新しい価値を創造するために、あくまで先端技術への追求と弛みない革新への挑戦をする」
ことを通じて、地球環境及び人類の持続可能な発展に貢献します。

環境保全	社会貢献	人材育成及び労働環境の醸成	法令遵守	公正取引
経営の効率化や省エネルギー化で環境負荷の低減に貢献	IT技術による積極的な社会貢献活動	社員が常に世の中の新しい価値を創造する	法令・社会規範及びその精神を遵守	透明性の高い適正な取引

Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

	第38期	第39期	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期
決算年月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月
売上高(千円)	12,574,151	14,742,554	16,166,841	15,007,149	15,848,974	18,272,045	26,782,643
経常利益(千円)	636,377	682,843	711,268	1,031,089	844,773	662,301	1,372,658
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	654,580	345,839	382,352	702,077	292,567	112,268	883,053
包括利益(千円)	702,237	396,663	426,161	753,768	367,902	183,053	990,318
純資産額(千円)	1,850,742	2,247,178	2,673,308	3,427,077	3,794,979	3,978,033	4,968,351
総資産額(千円)	6,958,007	8,380,543	9,177,714	10,136,167	11,468,317	13,627,886	17,764,969
1株当たり純資産額(円)	184.75	222.36	264.45	340.36	372.31	384.53	480.67
1株当たり当期純利益金額(円)	71.25	37.65	41.62	76.44	31.85	12.22	96.14
自己資本比率(%)	24.4	24.4	26.5	30.8	29.8	25.9	24.9
自己資本利益率(%)	47.8	18.5	17.1	25.3	8.9	3.2	22.2
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	△246,303	948,655	△147,249	△20,468	△40,663	△374,342	△30,808
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	366,840	△183,351	△112,089	△393,662	△212,897	△108,877	△50,048
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	881,034	396,249	253,343	81,518	971,043	1,696,024	666,743
現金及び現金同等物の期末残高(千円)	2,571,439	3,732,992	3,728,478	3,396,300	4,113,909	5,325,760	5,911,646
従業員数（外、平均臨時雇用者数）(人)	126(97)	164(73)	196(97)	221(119)	241(128)	266(105)	279(144)

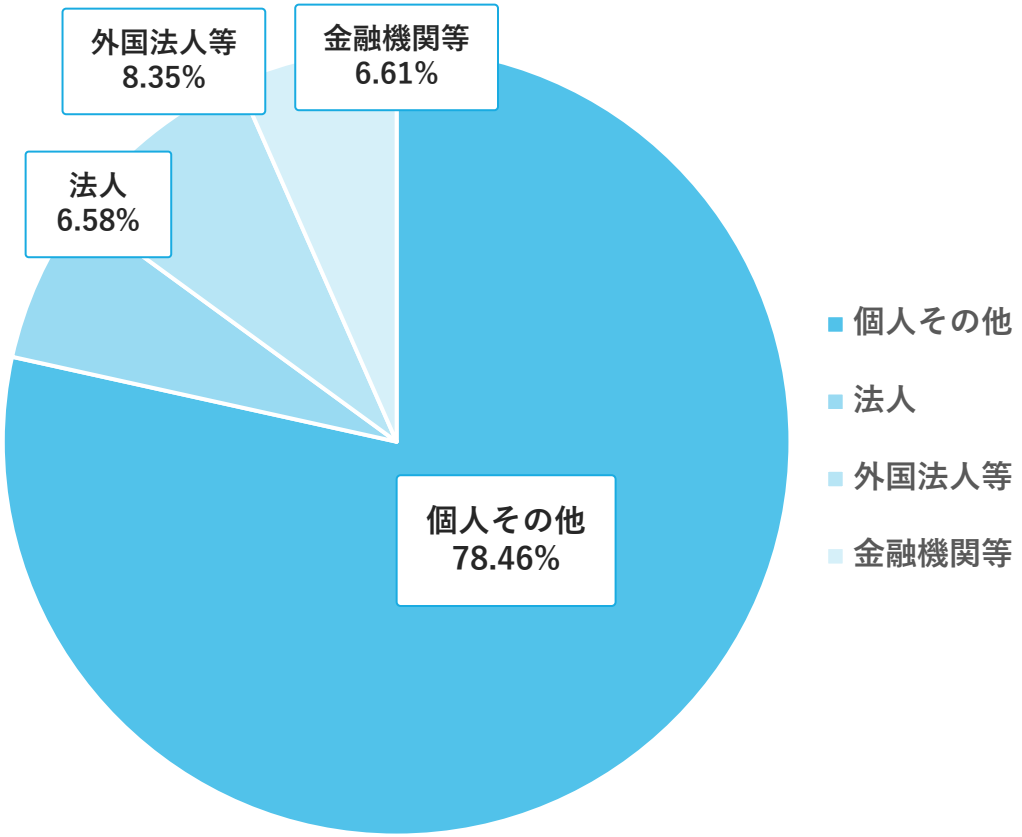
Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

株式情報：株式基本情報、株主構成等

【株式基本情報】

上場証券取引所	：東京証券取引所スタンダード市場
証券コード	：6840
発行可能株式総数	：27,328,000株
発行済株式総数	：9,192,560株
単元株式数	：100株
株主名簿管理人	：東京都千代田区丸の内一丁目３番３号 みずほ信託銀行株式会社

【株主構成：2026年3月末時点】



Copyright © AKIBA Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

AKIBA HOLDINGS

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報及び当該情報に基づく過程に依拠しているため、
リスクや不確実性を含んでいることから、実際の業績等は様々な要因により業績見直し等とは異なる可能性があり、当社がその実現を約束するものではありません。